

2015年春期(第156回)講演大会記録

2015年春期講演大会は、3月18日から20日の期間、東京大学駒場Iキャンパスにおいて開催した。

大会参加者 1,322名(一般744名, 学生員373名, 非会員一般90名, 非会員学生24名, 相互聴講91名)

講演発表件数 721件

- 3月18日(9:00~9:40) 開会の辞, 大韓金属・材料学会代表挨拶, TMS代表紹介, 各賞贈呈式(900番教室)
- (9:50~11:40) 学会賞受賞記念講演, 本多記念講演(900番教室)
- (13:00~17:05) 一般講演, シンポジウム講演, 受賞講演(1号館, 5号館12会場)
- (12:30~17:00) ポスターセッション(21COMCEE)
- (18:00~20:00) 懇親会(コミュニケーションプラザ南館1階カフェテリア若葉)
- 3月19日(13:00~17:25) 一般講演, シンポジウム講演, 名誉員推戴記念講演, 受賞講演, Young Leader International Scholar 講演, 共同セッション(1号館, 5号館18会場)
- 3月20日(9:00~16:25) 一般講演, シンポジウム講演, 受賞講演, 共同セッション(1号館, 5号館15会場)
- 3月18日~3月20日 総合受付(1号館1階), 金属組織写真展示(5号館2階), 付設機器・カタログ展示会(1号館1階)

開会の辞

新家光雄会長より開会の挨拶があった。

大韓金属・材料学会代表挨拶(3月18日)

本会と大韓金属・材料学会との学術交流協定にもとづき, Jong-Soo Woo 会長が来日し挨拶した。



開会の挨拶: 新会長



日本語で挨拶をされた Jong-Soo Woo 会長

TMS 代表紹介(3月18日)

本会とTMSとの国際交流促進協定にもとづき, TMS から第10回 Young Leader International Scholar として来日した代表者1名の Qizhen Li 氏が紹介された。

各受賞贈呈(3月18日)

各受賞贈呈の前に会長の式辞があり, 続いて贈呈があった。

第60回学会賞贈呈式 森永正彦君に対して賞状ならびに賞牌贈呈。

(受賞者; 本誌189頁)

第16回学術功労賞贈呈式 3名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者; 本誌190頁)。

第56回技術賞贈呈式 3名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者; 本誌190頁)。

第65回金属組織写真賞贈呈式 最優秀賞1件および優秀賞1件に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者; 本誌191頁)。

第46回研究技術功労賞贈呈式 10名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者; 本誌192頁)。

第73回功績賞贈呈式 8名(物性部門1名, 組織部門2名, 力学特性部門1名, 材料化学部門1名, 材料プロセッシング部門1名, 工業材料部門1名, 工業技術部門1名)に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者; 本誌193頁)。

第54回谷川・ハリス賞贈呈式 4名に対し賞状ならびに賞牌贈呈(受賞者; 本誌195頁)。

第21回増本量賞贈呈式 2名に対し賞状ならびに副賞贈呈(受賞者; 本誌196頁)。

第22回若手講演論文賞贈呈式 3名に対し賞状贈呈(受賞者; 本誌196頁)。

第2回特別功労賞 1名に対し賞状贈呈(受賞者; 本誌197頁)。

名誉員推戴式 新名誉員2名に対し推薦状ならびに名誉員章贈呈(受賞者; 本誌197頁)。

第60回学会賞受賞記念講演(3月18日)

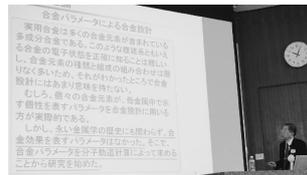
「分子軌道法による合金設計」

豊田理化学研究所フェロー・名古屋大学名誉教授 森永正彦 君

第60回本多記念講演会(3月18日)

「マルテンサイト変態の核生成に関する一考察と鉄基形状記憶合金に現れる巨大弾性的ひずみと臨界点」

大阪大学教授 掛下知行 君



森永先生によるご講演。



掛下先生によるご講演。

懇親会(3月18日)

学内のコミュニケーションプラザ南館1階カフェテリア若葉において日本鉄鋼協会と合同で開催(参加者は275名, 本会への申込者・招待者117名)。

- | | |
|---------------|----------------|
| 開会の辞・司会 | 東京大学 教授 榎 学 |
| 来賓挨拶 | 東京大学 副学長 前田正史 |
| 日本金属学会会長挨拶 | 東北大学 教授 新家光雄 |
| 日本鉄鋼協会会長挨拶・乾杯 | 東京工業大学 教授 加藤雅治 |
| 懇 談 | |
| 閉会の辞 | 東京大学 教授 榎 学 |



新会長のご挨拶。



新名誉員 Urban 氏ご夫妻と一緒に。



TMS Young Leader Li 氏を囲んで。



大学キャンパス内での懇親会風景。

学術講演会(3月18日~20日)

- 最終講演件数721件
欠講1件(講演番号:一般No. 317)
- 学会賞受賞記念講演1件, 本多記念講演1件
- 公募シンポジウム講演6テーマ124題
(基調講演39題, 応募講演85題)
- 一般講演442題(功績賞授賞講演6題, 谷川・ハリス賞受賞講演4題, 増本量賞受賞講演2題, 技術賞受賞講演3題, 名誉員推戴記念講演1題, Young Leader Scholar 講演1題含む)
- 共同セッション17題
- ポスターセッション119題
講演会場 18会場

第24回ポスターセッション(3月18日)

3月18日12:30~17:00に21COMCEE 3階の3教室で119件のポスター発表が行われ, そのうち優秀ポスター賞にエントリーおよび審査対象となっている101件の内容・発表について審査が行われた。

第1部(12:30~14:30)58件, 第2部(15:00~17:00)61件の二部構成で開催。

一般講演は15時で終了とし, 多数の聴講者がポスターセッション会場へ足を運んでいた。

3月19日「優秀ポスター賞」20名が決定し, 受賞者を受付前に掲示した(受賞者; 本誌198頁)。

金属学会・鉄鋼協会共同セッション

「チタン・チタン合金」20題(金属13題, 鉄鋼7題)は3月19日, 金属学会Q会場で開催した。

「超微細粒組織制御の基礎」4題(金属1題, 鉄鋼3題)は3月20日, 鉄鋼協会第3会場で開催した。

「マイクロ波応用プロセッシング」9題(金属3題, 鉄鋼6題)は3月20日, 鉄鋼協会第10会場で開催した。

第10回 JIM/TMS Young Leader International Scholar Program (3月19日)

若手研究者の活動の活性化と TMS との国際交流促進を目的に2006年より設けられた Joint JIM/TMS Young Leader International Scholar Program として, TMS から派遣された代表者 Qizhen Li 氏が一般講演「Mg・Mg 合金」セッションの中で Young Leader International Scholar 講演発表後, 座長より賞状が授与された。



三浦誠司座長からの賞状授与。左から三浦座長, Dr. Li, 御手洗世話人。

第7回男女共同参画ランチオンミーティング(3月20日)

「金属材料分野での多様なキャリアパス」をテーマに Joint JIM/TMS Young Leader International Scholar Program として, TMS から派遣された代表者 Qizhen Li 氏とエイチ・シースタルク(株)宮下直子氏が英語で講演を行った。



宮下直子氏によるご講演。 Dr. Qizhen Li 氏によるご講演。

付設機器・カタログ等展示会(第36回)

機器展示26社, 書籍展示1社, カタログ展示2社が出展した。展示会場は1号館1階1室および受付に併設し開催した。春期講演大会では過去最高の出展数であった。各社のご厚意に感謝いたします。

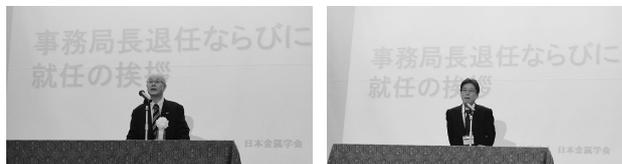


託児室

今回は利用者がなく開設しなかった。

事務局長退任ならびに就任の挨拶

両者より挨拶があった。



梶原事務局長退任の挨拶。

山村新事務局長就任の挨拶。

【大会雑記】

東京大学では12回目の開催となるが, 駒場キャンパスでは初めて開催した。

講演会場は1号館, 5号館, 21KOMCEE でコンパクトにまとめた会場であった。1号館は, 金属学会と鉄鋼協会が受付および講演会場を左右に分けて行ったが, 参加者には好評であった。

大会前日に開催した第1回の企業説明会は企業35社, 学生118名の参加があり, 盛会裡に終了した。

桜はまだ蕾程度であったが, 幸い悪天候にもならず交通機関の影響もなく3日間無事に講演を終了することができた。

東京大学教職員関係者ならびに事務関係者の皆様にはお忙しい中を諸般にわたり終始, 万端のご配慮をいただき, ご協力に対し心から厚く御礼申し上げます。

